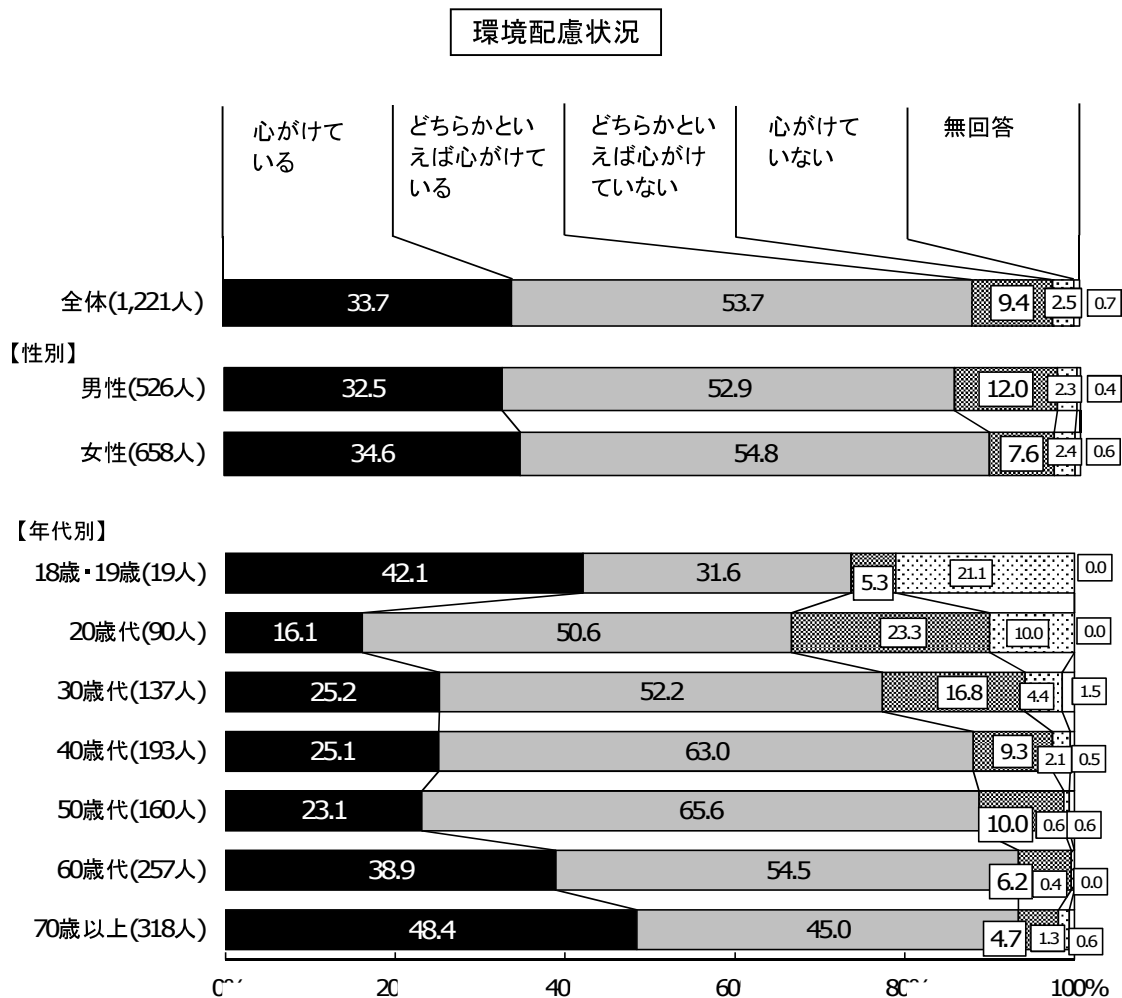


3 環境について

3-1 環境配慮状況

◆ “環境に配慮した生活を心がけている” 87.4% ◆

問8 あなたは、環境に配慮した生活を心がけていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



全体で見ると「心がけている」は33.7%、「どちらかといえば心がけている」は53.7%で、両者をあわせた87.4%が“環境に配慮した生活を心がけている”と回答しています。

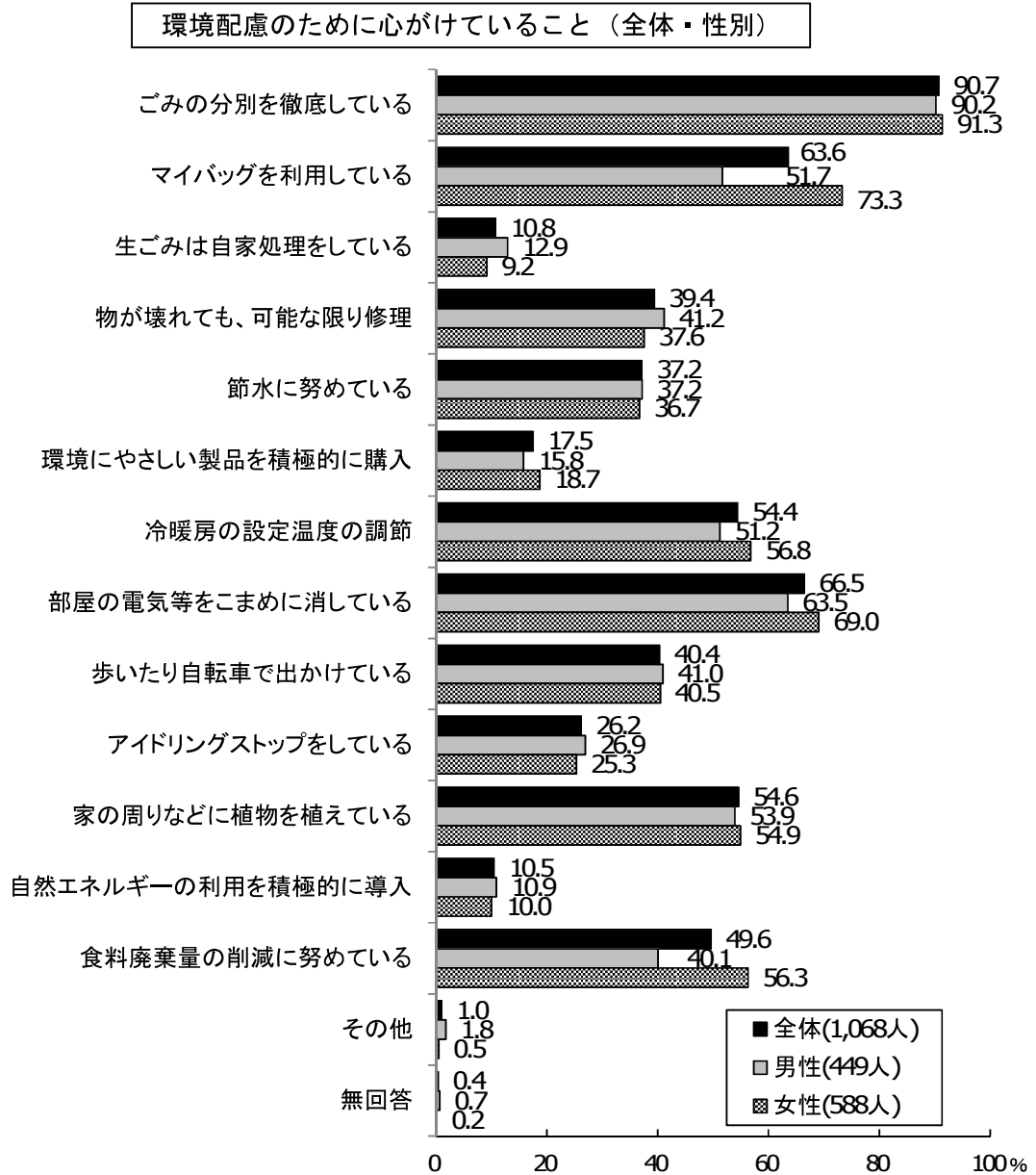
年代別で見ると「心がけている」は70歳以上で48.4%と最も高く、次いで18歳・19歳で42.1%となっています。また“環境に配慮した生活を心がけている”は、60歳代、70歳以上でともに93.4%と最も高く、50歳代でも88.7%となっています。一方、20歳代では「心がけていない」(10.0%)と「どちらかといえば心がけていない」(23.3%)の両者をあわせた“環境に配慮した生活を心がけていない”が33.3%と、他の年代に比べ高くなっています。

3-2 環境配慮のために心がけていること

◆「ごみの分別を徹底している」90.7%◆

(問8で「心がけている」または「どちらかといえば心がけている」とお答えの方におたずねします)

問8-1 日常生活の中で、具体的に心がけていることは何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

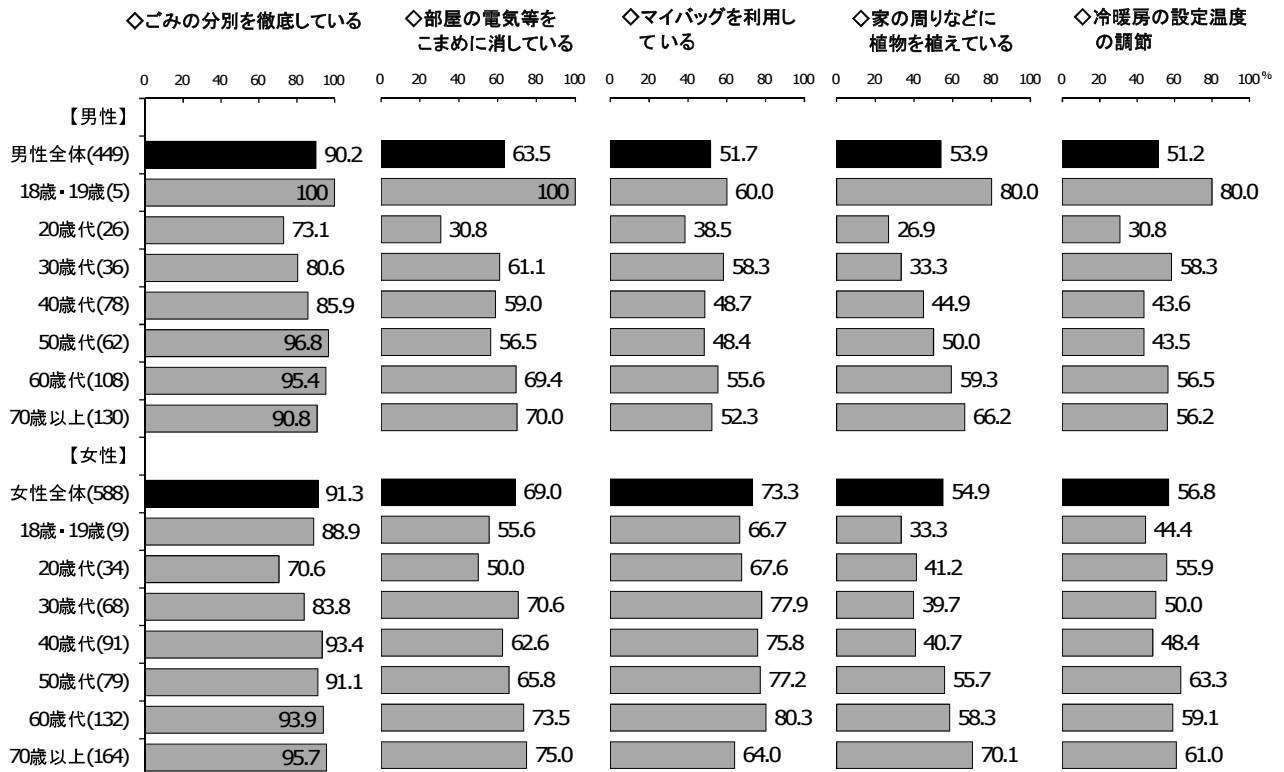


※「食料廃棄量の削減に努めている」は、平成28年度からの選択肢です。

全体では「ごみの分別を徹底している」が90.7%で最も高く、次いで「部屋の電気等をこまめに消している」(66.5%)、「マイバッグを利用している」(63.6%)、「家の周りなどに植物を植えている」(54.6%)、「冷暖房の設定温度の調節」(54.4%)と続いています。

性別でみると「マイバッグを利用している」は女性(73.3%)が男性(51.7%)を21.6ポイント上回っています。

環境配慮のために心がけていること（上位5項目 性・年代別）



性・年代別でみると「ごみの分別を徹底している」は男性・女性とも全ての年代で高い割合で行われており、特に男性・女性とも50歳代以降で9割以上となっています。

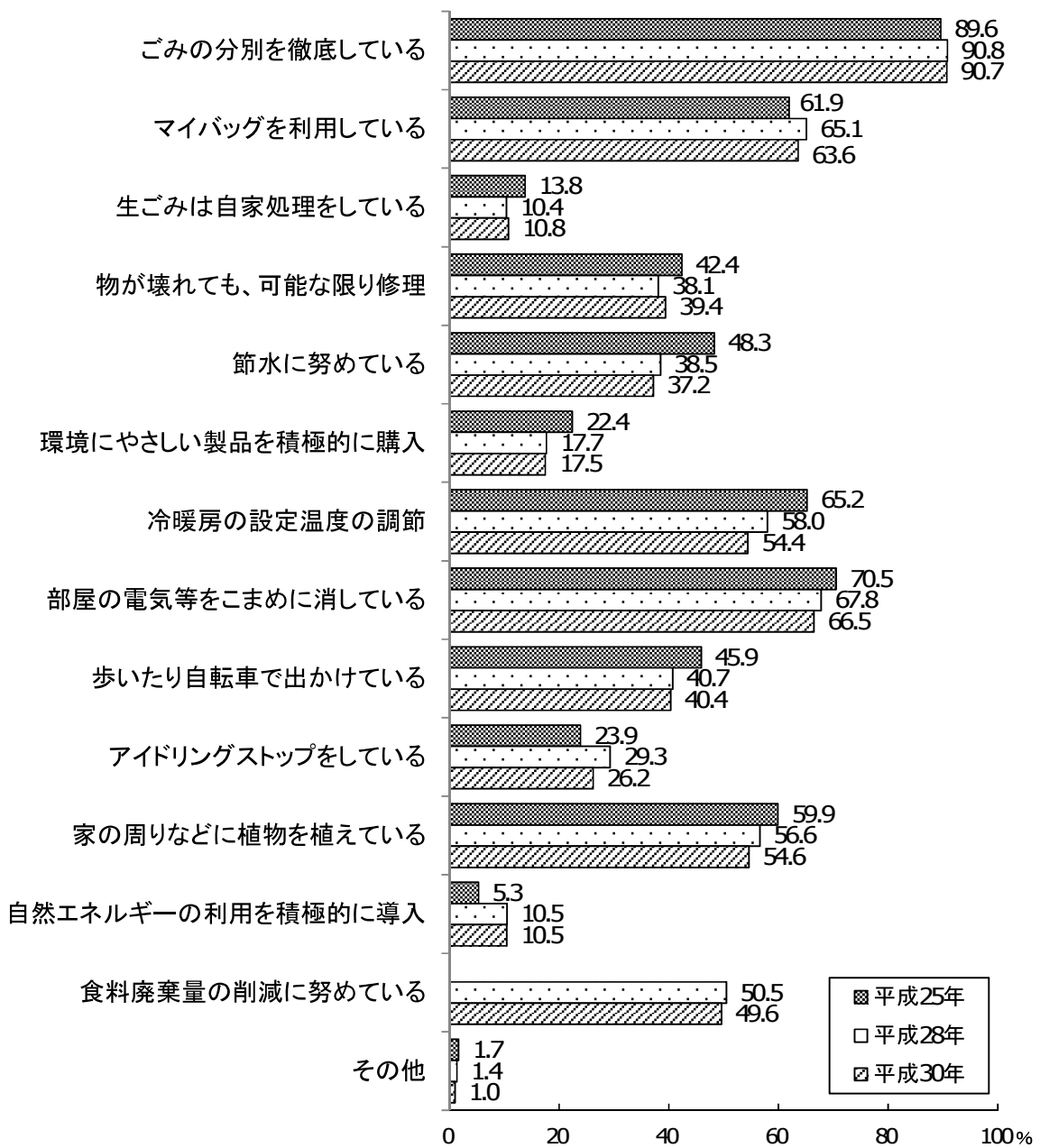
「部屋の電気等をこまめに消している」は男性では18歳・19歳が100%と群を抜き高く、女性では30歳代と60歳代、男性・女性ともに70歳以上で7割台と高くなっています。

「マイバッグを利用している」は女性では全ての年代で6割を超えており、特に60歳代で80.3%と最も高くなっています。男性は18歳・19歳が60.0%と高くなっています。

「家の周りなどに植物を植えている」は男性・女性ともに年齢が高くなるほど割合が高い傾向となっており、男性では18歳・19歳が80.0%と最も高く、女性では70歳以上が70.1%となっています。

「冷暖房の設定温度の調節」は男性の18歳・19歳（80.0%）が最も高く、女性では50歳代（63.3%）が最も高くなっています。

環境配慮のために心がけていること（経年比較）



※「食料廃棄量の削減に努めている」は、平成28年度からの選択肢です。

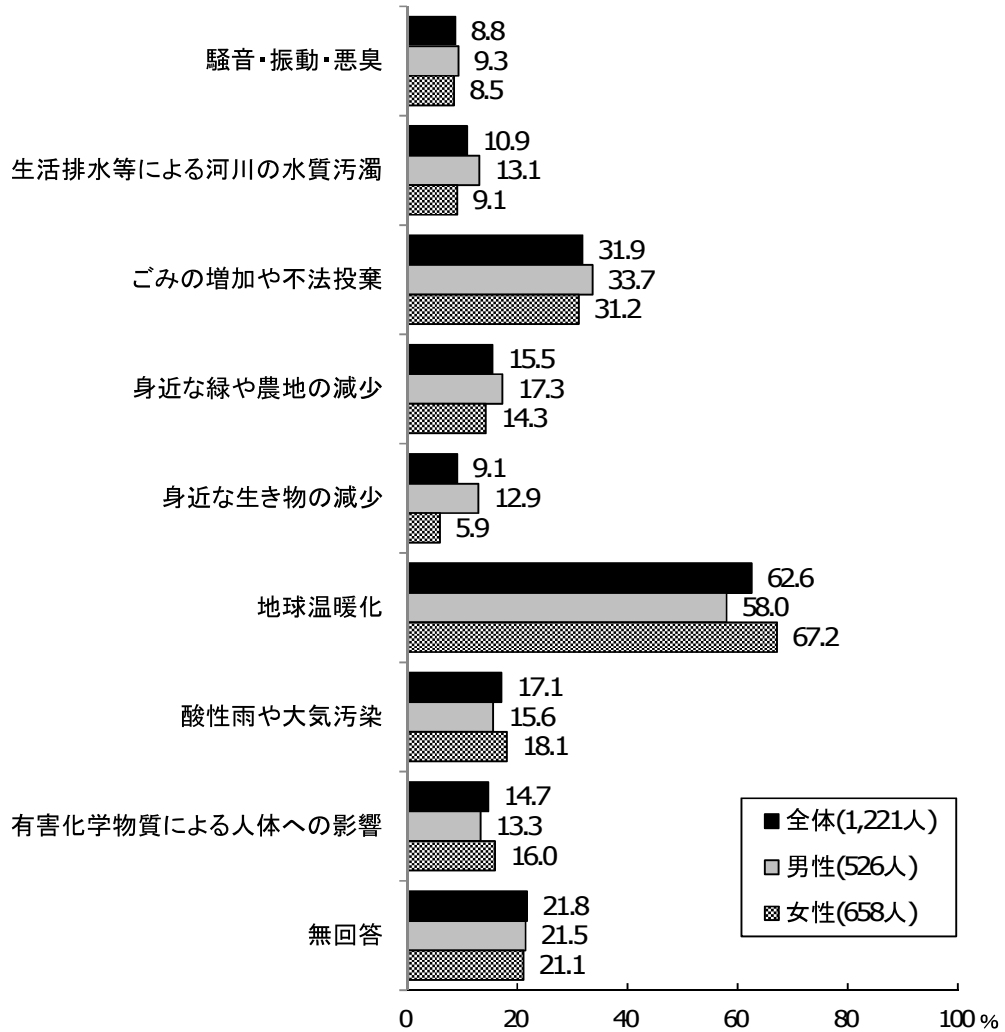
平成28年度調査と比較すると「物が壊れても、可能な限り修理」が1.3ポイント、「生ごみは自家処理をしている」が0.4ポイント増加しています。一方「冷暖房の設定温度の調整」は3.6ポイント、「アイドリングストップをしている」は3.1ポイント減少しています。

3-3 環境問題の深刻度・重要度

◆「地球温暖化」「ごみの増加や不法投棄」が深刻度、重要度ともに比較的高い◆

問9 環境問題について、次にあげる項目で、「すでに深刻な問題である」ということ、今後、改善していくうえで「重点的に取り組んでいく必要がある」ということについて、それぞれ3つまで選び、番号を○で囲んでください。

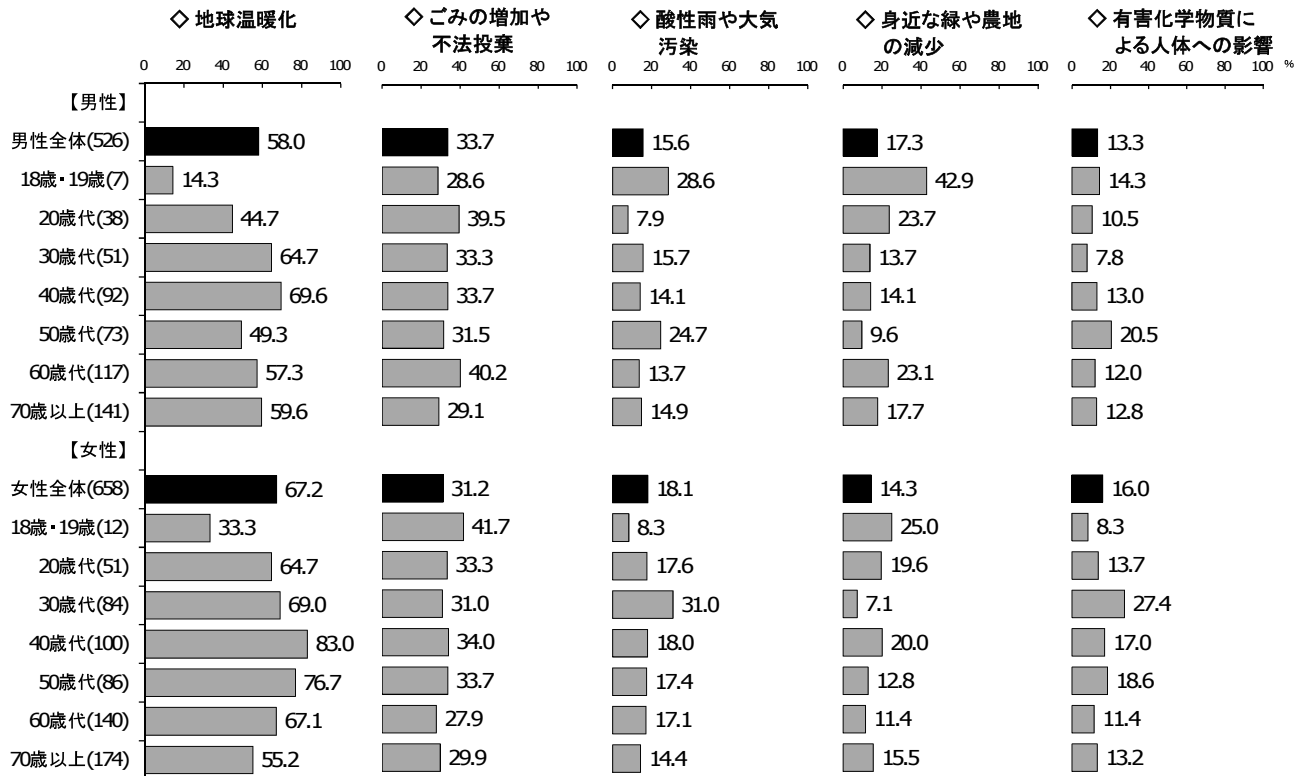
深刻と考える環境問題（全体・性別）



深刻と考える環境問題は、猛暑の影響か全体では「地球温暖化」が62.6%と最も高く、次いで「ごみの増加や不法投棄」(31.9%)、「酸性雨や大気汚染」(17.1%)、「身近な緑や農地の減少」(15.5%)、「有害化学物質による人体への影響」(14.7%)と続いています。

性別でみると「地球温暖化」は女性(67.2%)が男性(58.0%)を9.2ポイント、「身近な生き物の減少」は男性(12.9%)が女性(5.9%)を7.0ポイント上回っています。

深刻と考える環境問題（上位5項目 性・年代別）



性・年代別でみると「地球温暖化」は男性・女性ともに40歳代が最も高く、男性では69.6%、女性では83.0%となっています。

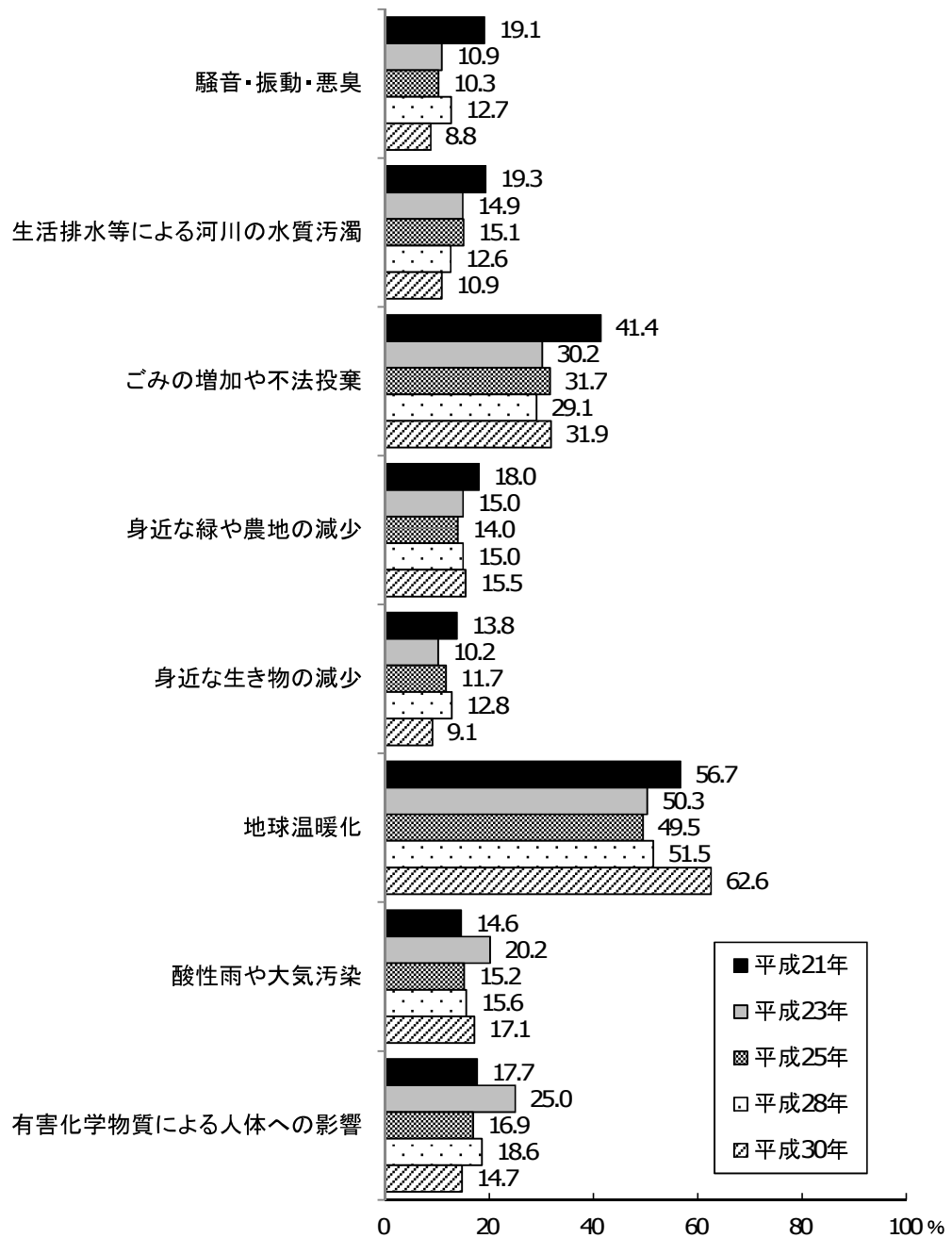
「ごみの増加や不法投棄」は男性の60歳代(40.2%)、女性の18歳・19歳(41.7%)が高くなっています。

「酸性雨や大気汚染」は女性の30歳代(31.0%)、男性の18歳・19歳(28.6%)が高くなっています。

「身近な緑や農地の減少」は男性・女性ともに18歳・19歳が最も高く、男性では42.9%、女性では25.0%となっています。

「有害化学物質による人体への影響」は女性の30歳代(27.4%)、男性の50歳代(20.5%)が高くなっています。

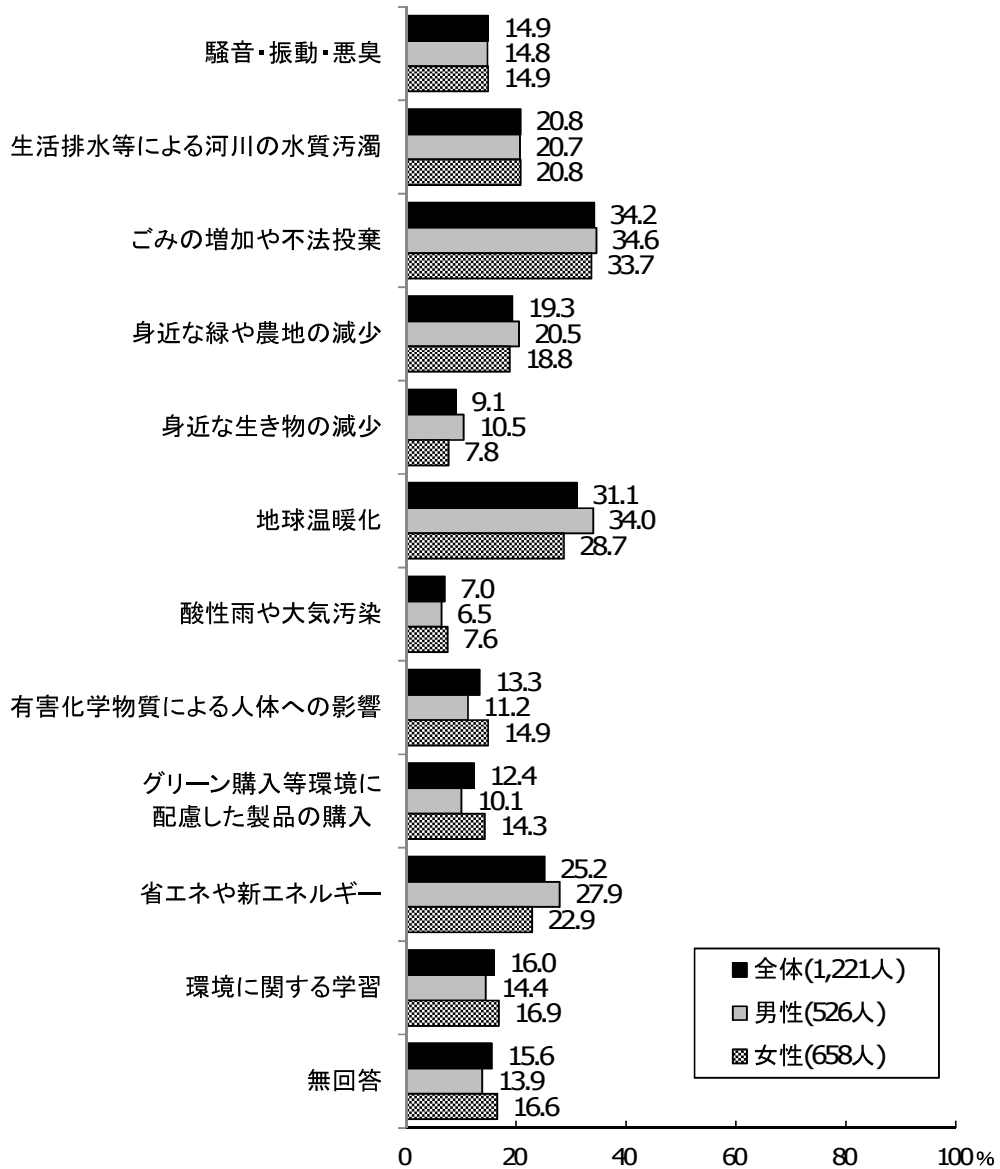
深刻と考える環境問題（経年比較）



※「騒音・振動・悪臭」は平成21年度調査の「騒音・振動・悪臭・大気汚染」と比較しています。

平成28年度調査と比較すると「地球温暖化」は11.1ポイント、「ごみの増加や不法投棄」は2.8ポイント増加しています。

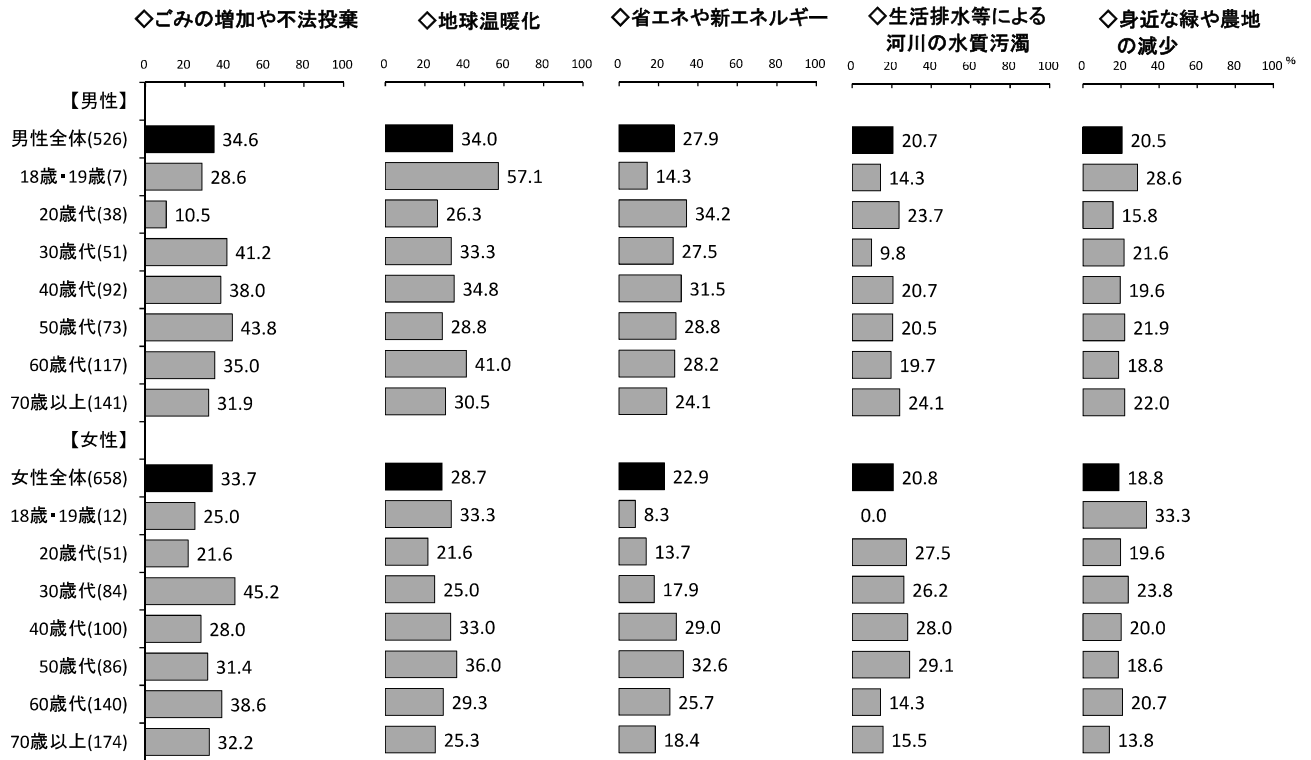
重点的に取り組んでいく必要がある環境問題(全体・性別)



重点的に取り組んでいく必要がある環境問題は、全体で見ると「ごみの増加や不法投棄」が34.2%で最も高く、次いで「地球温暖化」(31.1%)、「省エネや新エネルギー」(25.2%)、「生活排水等による河川の水質汚濁」(20.8%)、「身近な緑や農地の減少」(19.3%)と続いています。

性別で見ると「グリーン購入等環境に配慮した製品の購入」は女性(14.3%)が男性(10.1%)を4.2ポイント上回っています。また「地球温暖化」は男性(34.0%)が女性(28.7%)を5.3ポイント、「省エネや新エネルギー」は男性(27.9%)が女性(22.9%)を5.0ポイント上回っています。

重点的に取り組んでいく必要がある環境問題（上位5項目 性・年代別）



性・年代別でみると「ごみの増加や不法投棄」は、男性の50歳代（43.8%）と女性の30歳代（45.2%）が高くなっています。

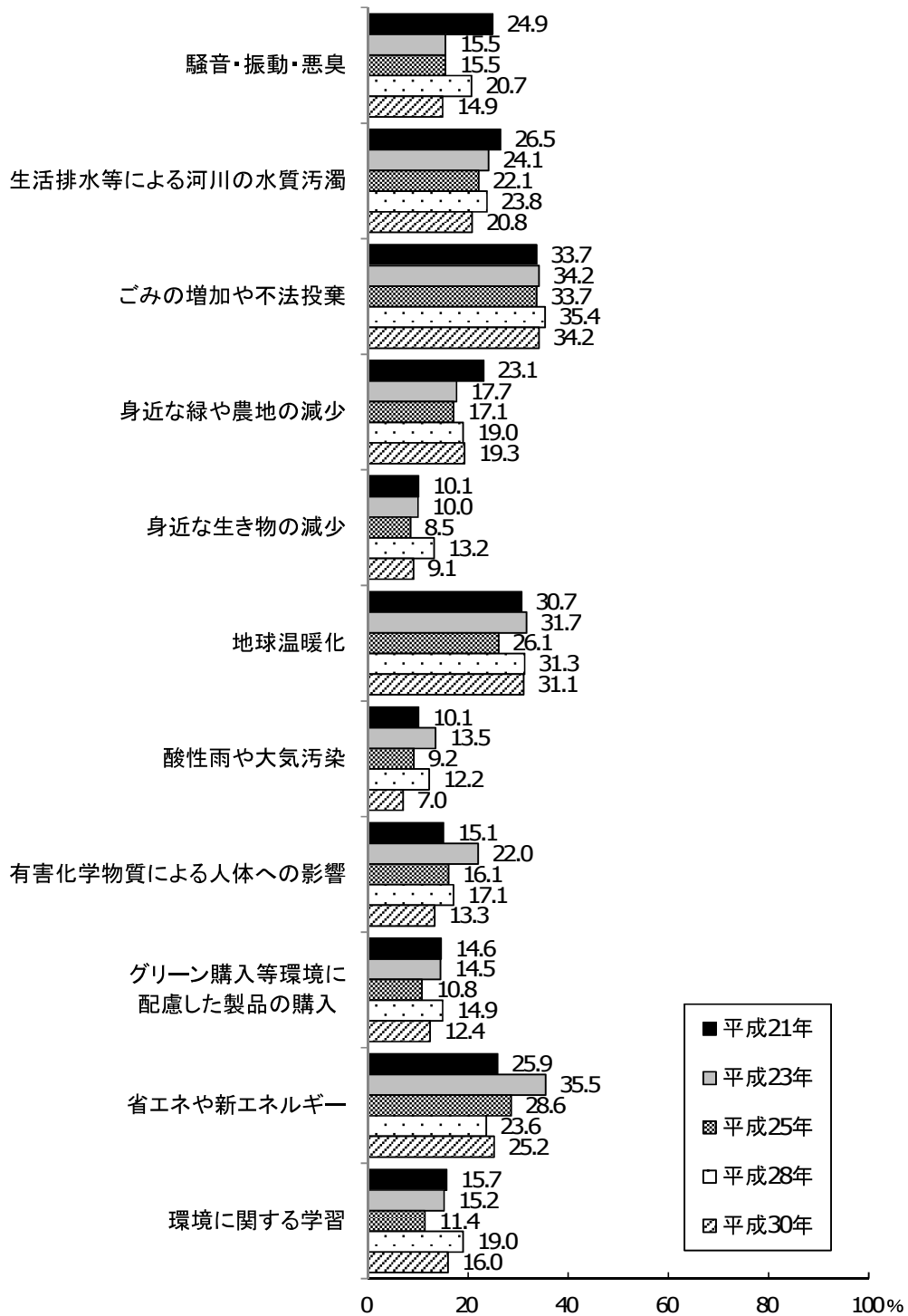
「地球温暖化」は男性では18歳・19歳（57.1%）が高く、女性では50歳代（36.0%）が比較的高くなっています。

「省エネや新エネルギー」は男性の20歳代で34.2%、40歳代で31.5%、女性の50歳代で32.6%と高くなっており、男性・女性とも他の年代では1割台から2割台となっています。

「生活排水等による河川の水質汚濁」は、全ての年代で1割台から2割台となっています。

「身近な緑や農地の減少」は18歳・19歳の男性で28.6%、女性で33.3%と高くなっています。

重点的に取り組んでいく必要がある環境問題（経年比較）

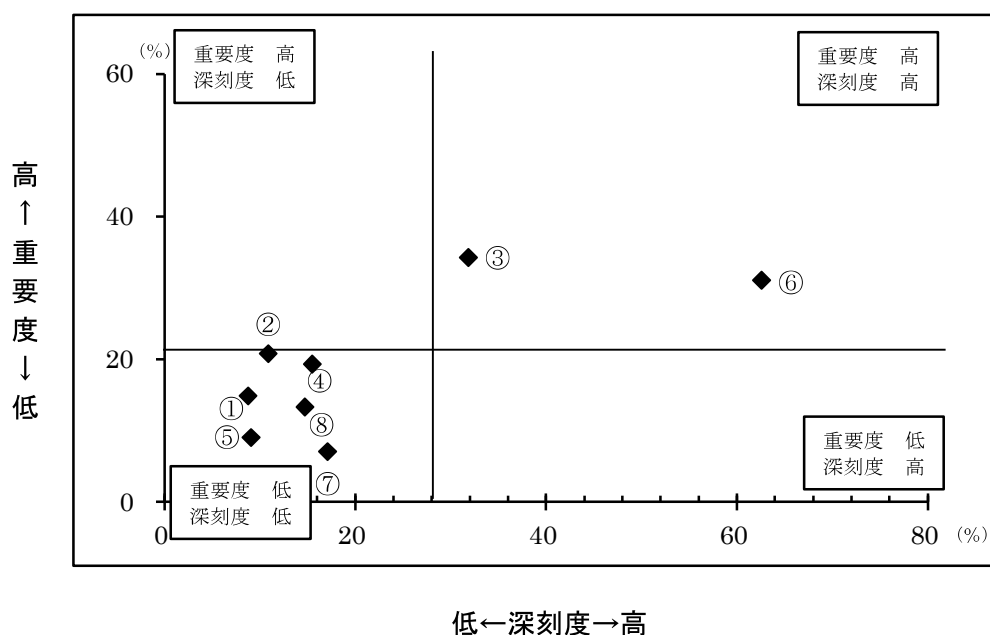


※「騒音・振動・悪臭」は平成21年度調査の「騒音・振動・悪臭・大気汚染」と比較しています。

平成28年度調査と比較すると「省エネや新エネルギー」が1.6ポイント増加しています。一方、おおむね減少傾向にある中、特に「騒音・振動・悪臭」が5.8ポイント、「酸性雨や大気汚染」が5.2ポイント減少しています。

■環境問題の深刻度及び重要度

		(%)	
		深刻度	重要度
①	騒音・振動・悪臭	8.8	14.9
②	生活排水等による河川の水質汚濁	10.9	20.8
③	ごみの増加や不法投棄	31.9	34.2
④	身近な緑や農地の減少	15.5	19.3
⑤	身近な生き物の減少	9.1	9.1
⑥	地球温暖化	62.6	31.1
⑦	酸性雨や大気汚染	17.1	7.0
⑧	有害化学物質による人体への影響	14.7	13.3
⑨	グリーン購入等環境に配慮した製品の購入		12.4
⑩	省エネや新エネルギー		25.2
⑪	環境に関する学習		16.0
	無回答	21.8	15.6



上記のグラフでは「すでに深刻な問題である(=深刻度)」を横方向、「重点的に取り組んでいく必要がある(=重要度)」を縦方向に示しています。

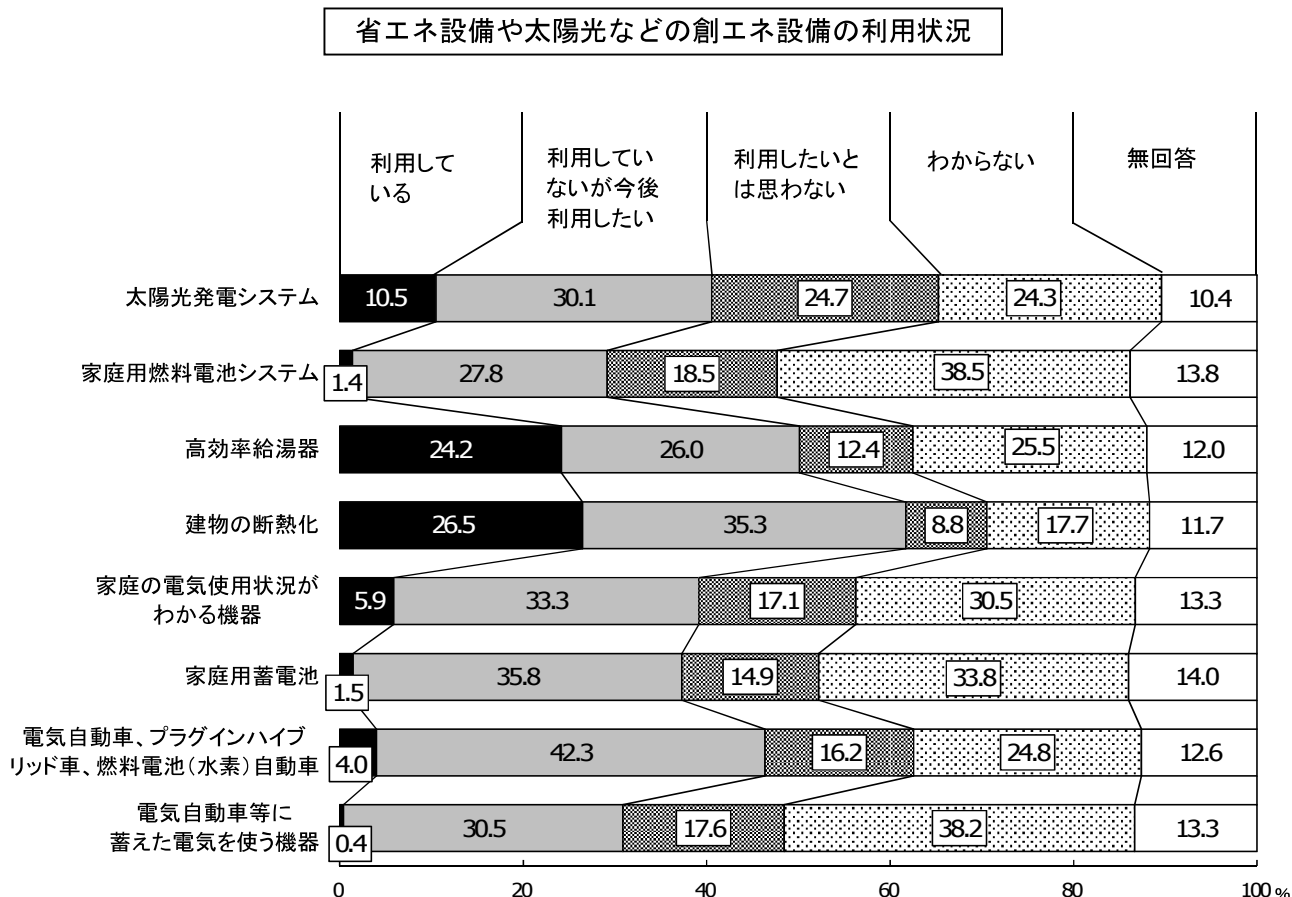
図中、右上の領域に位置する「③ごみの増加や不法投棄」「⑥地球温暖化」は、深刻度・重要度ともに高くなっています。左上の領域に位置する「②生活排水等による河川の水質汚濁」は重要度が高くなっています。

一方、その他の項目については深刻度・重要度ともに低くなっています。

3-4 省エネ設備や太陽光などの創エネ設備の利用状況

◆「建物の断熱化」26.5%◆

問 10 あなたは、省エネ設備や太陽光などの新エネルギーによる創エネ設備を利用していますか。次の項目について、それぞれ1つ選び、番号を○で囲んでください。



※「電気自動車、プラグインハイブリッド車、燃料電池（水素）自動車」は、前回までは「電気自動車やハイブリッド車」。

※「家庭用蓄電池」「電気自動車等に蓄えた電気を家で使う機器」は新しい項目です。

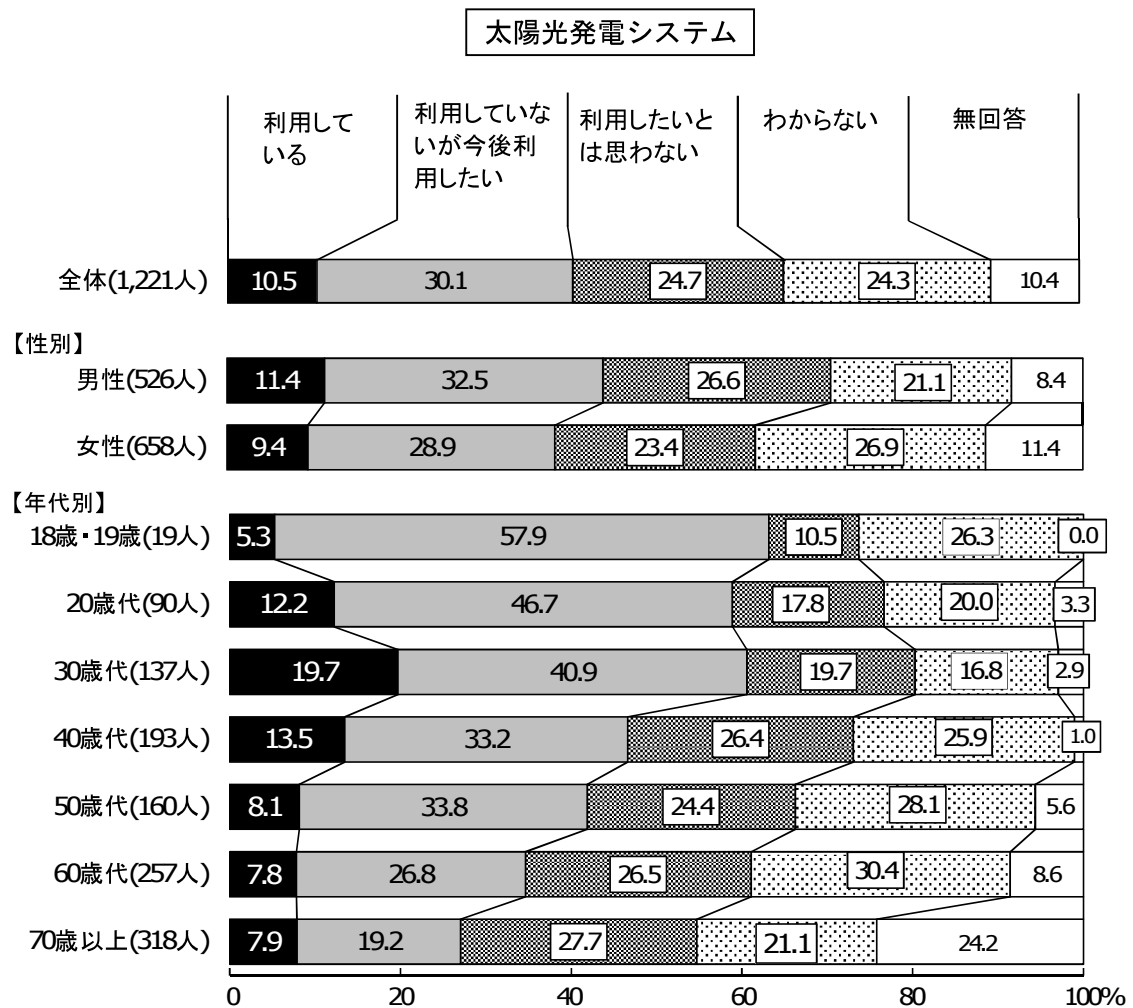
「利用している」は「建物の断熱化」が26.5%で最も高く、次いで「高効率給湯器」が24.2%となっています。

「利用していないが今後利用したい」は「電気自動車、プラグインハイブリッド車、燃料電池（水素）自動車」が42.3%で最も高く、次いで「家庭用蓄電池」が35.8%となっています。

「利用したいとは思わない」は「太陽光発電システム」が24.7%で最も高く、次いで「家庭用燃料電池システム」が18.5%となっています。

太陽光発電システム

◆「利用している」10.5%、「利用していないが今後利用したい」30.1%◆



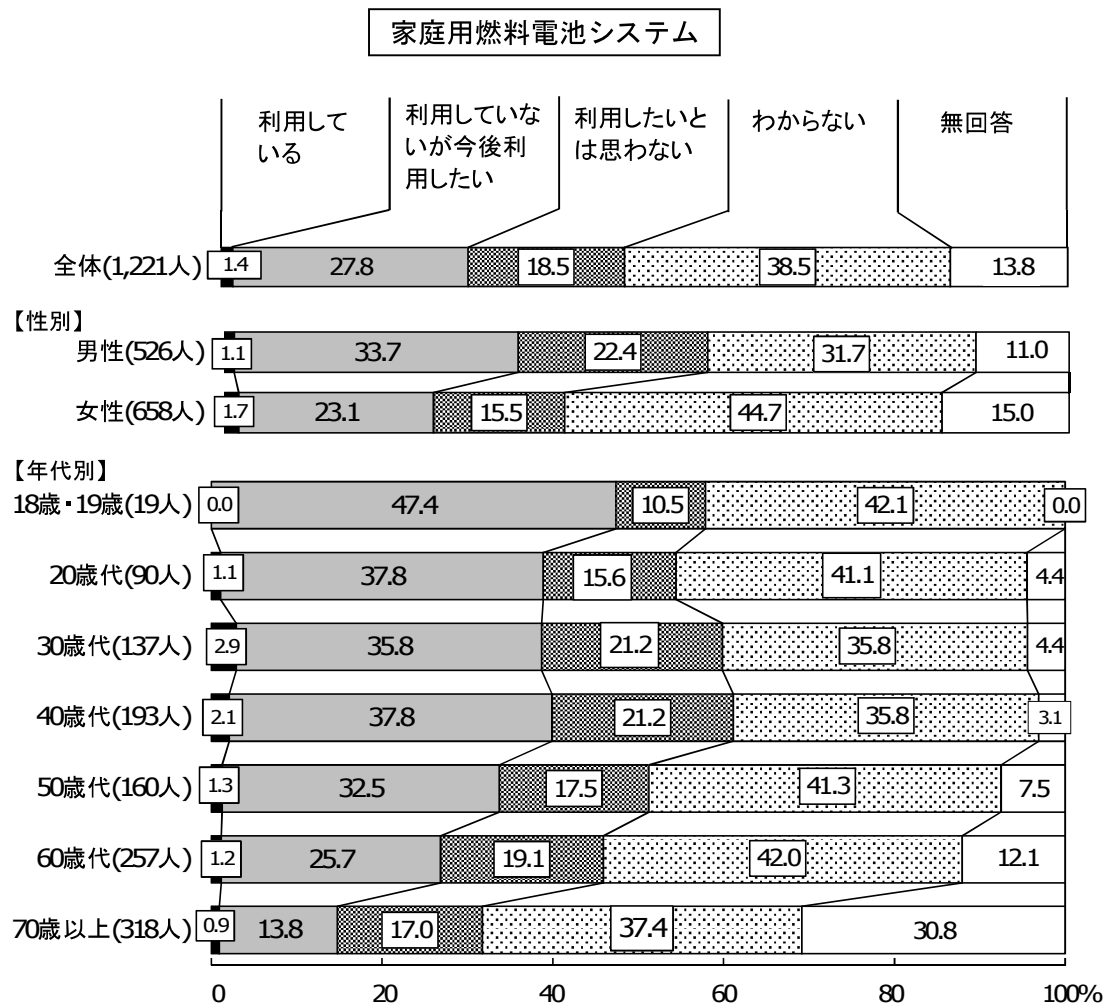
全体で見ると「利用している」は10.5%、「利用していないが今後利用したい」は30.1%となっています。

性別で見ると「利用していないが今後利用したい」は男性・女性とも3割前後となっています。

年代別で見ると「利用している」は30歳代で19.7%と最も高く、「利用していないが今後利用したい」は18歳・19歳で57.9%と最も高く、年齢が高くなるほど割合が低くなる傾向にあります。

家庭用燃料電池システム

◆「利用している」1.4%、「利用していないが今後利用したい」27.8%◆



全体で見ると「利用している」は1.4%、「利用していないが今後利用したい」は27.8%となっています。

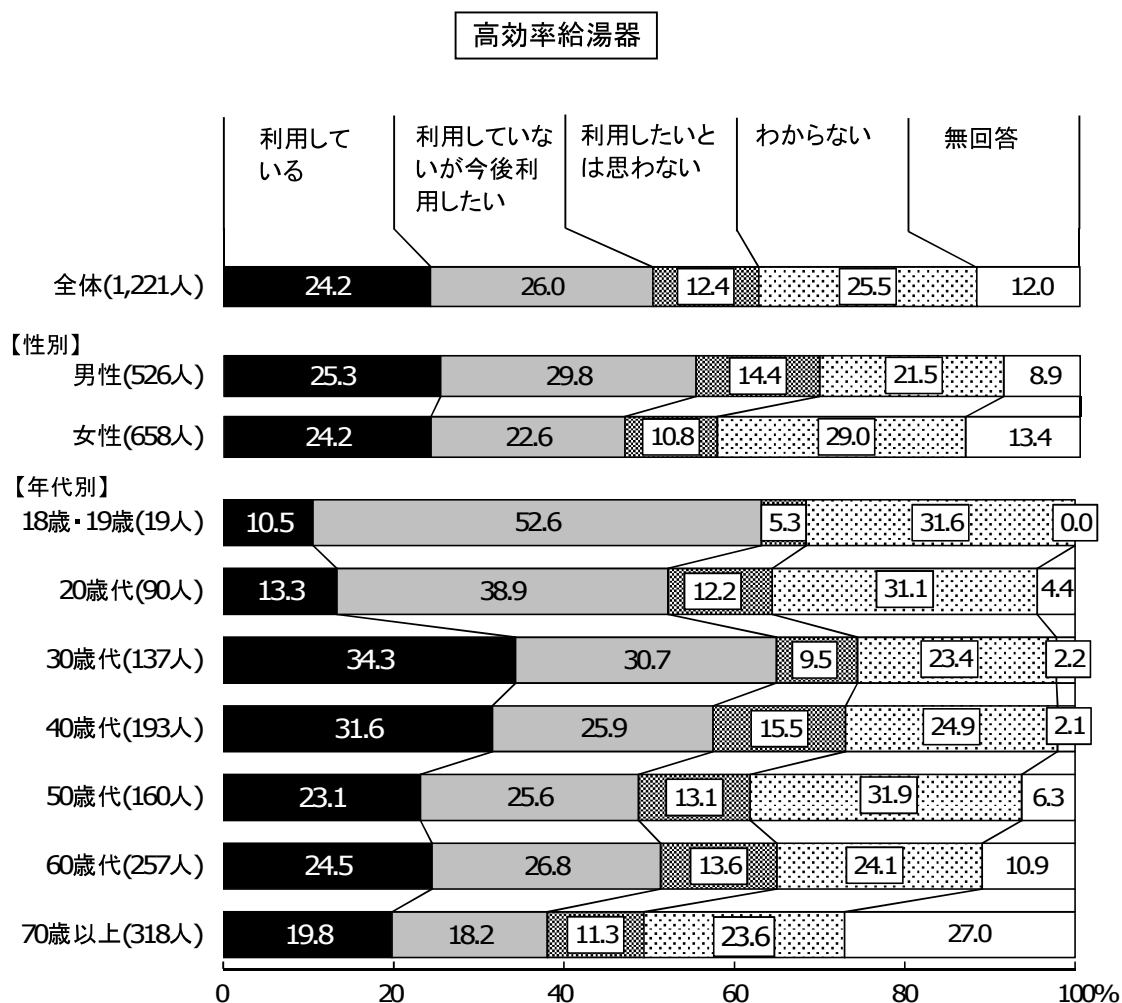
性別で見ると「利用していないが今後利用したい」は男性（33.7%）が女性（23.1%）を10.6ポイント上回っています。

年代別で見ると「利用している」は30歳代で2.9%と最も高くなっています。「利用していないが今後利用したい」は18歳・19歳で47.4%と最も高く、年齢が高くなるほど割合が低くなる傾向にあります。

全体、性別、年代別で「わからない」が多いことから、機器の認知そのものが十分でないことが推察されます。

高効率給湯器

◆「利用している」24.2%、「利用していないが今後利用したい」26.0%◆



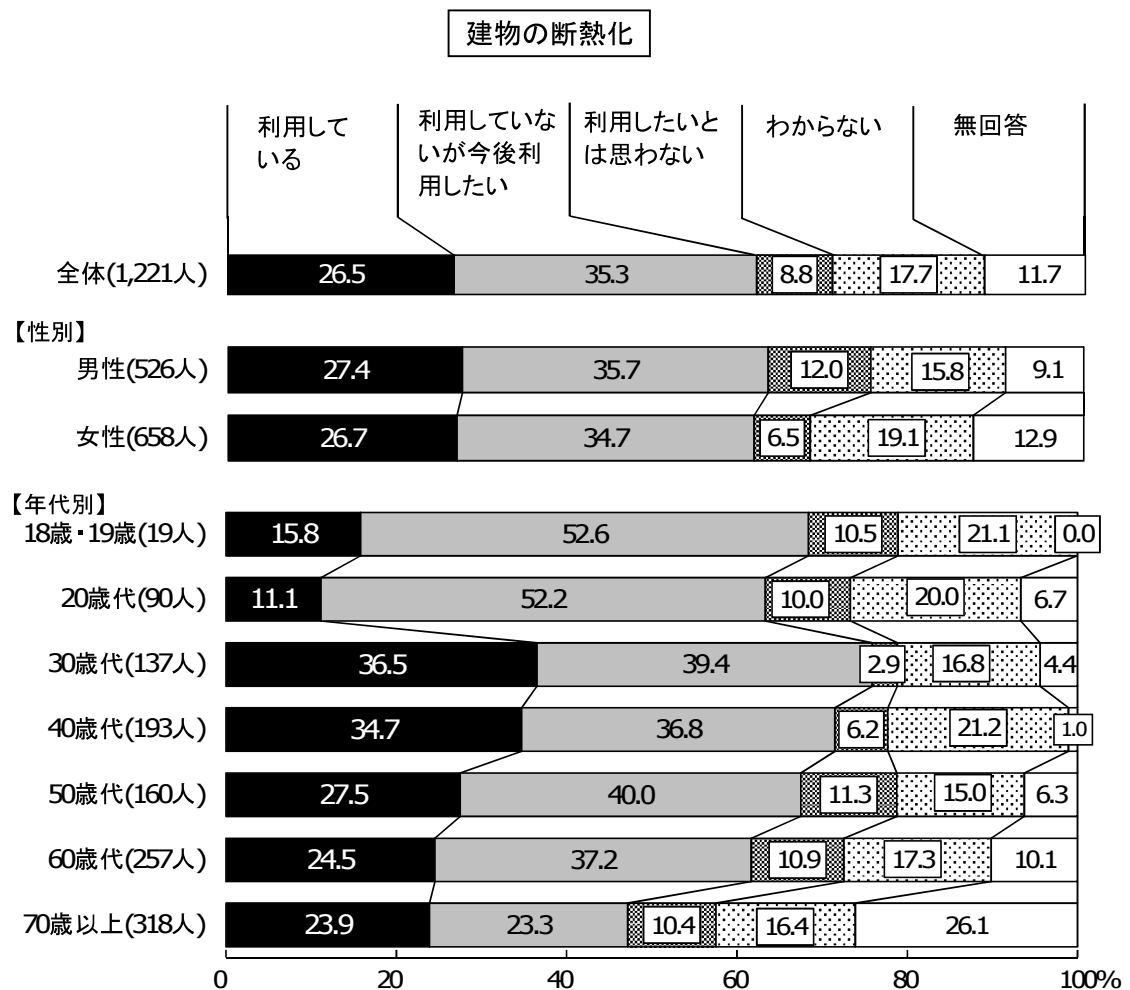
全体で見ると「利用している」は24.2%、「利用していないが今後利用したい」は26.0%となっています。

性別で見ると「利用している」は男性（25.3%）が女性（24.2%）を1.1ポイント上回り、「利用していないが今後利用したい」は男性（29.8%）が女性（22.6%）を7.2ポイント上回っています。

年代別で見ると「利用している」は30歳代で34.3%と最も高く、年齢が高くなるほど割合が低くなる傾向にあります。「利用していないが今後利用したい」は18歳・19歳で52.6%と最も高くなっています。

建物の断熱化

◆「利用している」26.5%、「利用していないが今後利用したい」35.3%◆



全体で見ると「利用している」は26.5%、「利用していないが今後利用したい」は35.3%となっています。

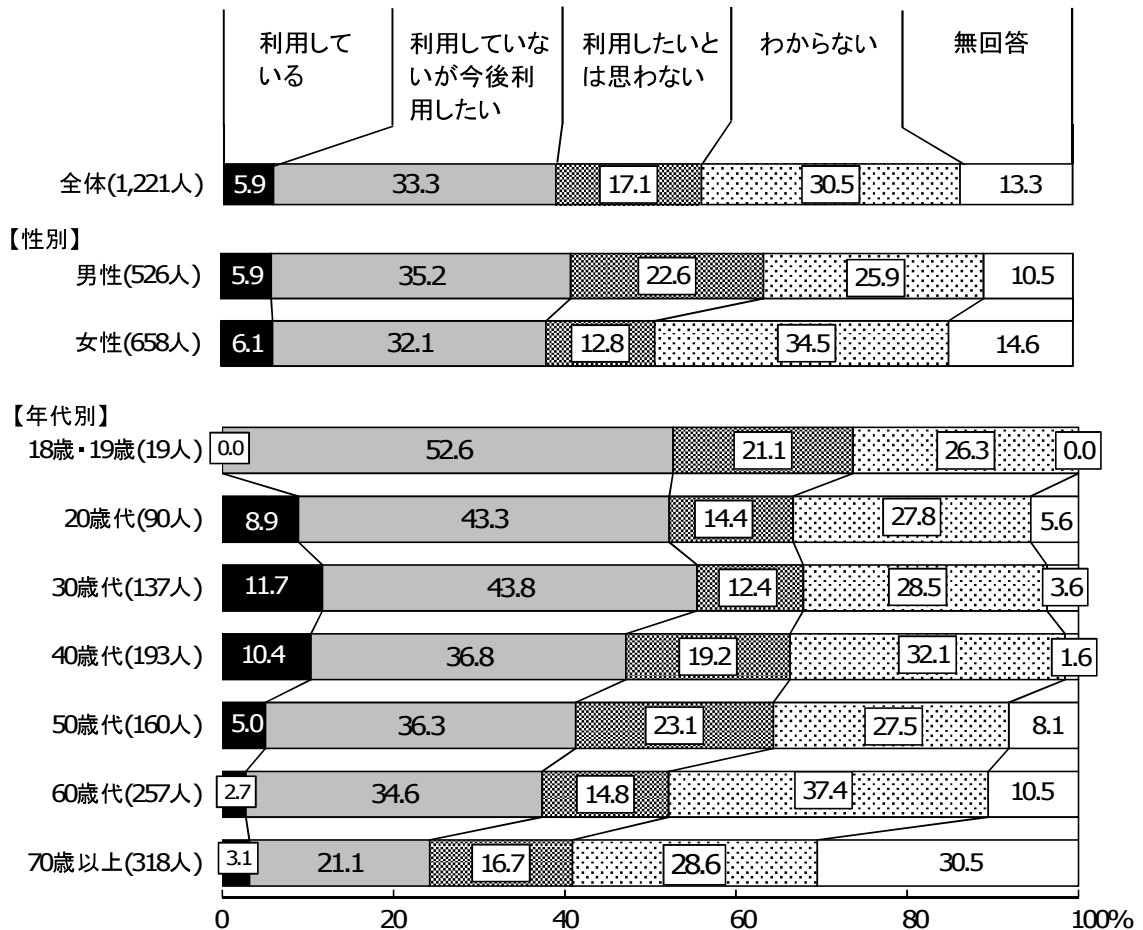
性別で見ると「利用していないが今後利用したい」は男性・女性とも3割台となっています。

年代別で見ると「利用している」は30歳代、40歳代で3割台となっています。「利用していないが今後利用したい」は18歳・19歳(52.6%)と20歳代(52.2%)で高くなっています。

家庭の電気使用状況が一目でわかる機器

◆「利用している」5.9%、「利用していないが今後利用したい」33.3%◆

家庭の電気使用状況が一目でわかる機器



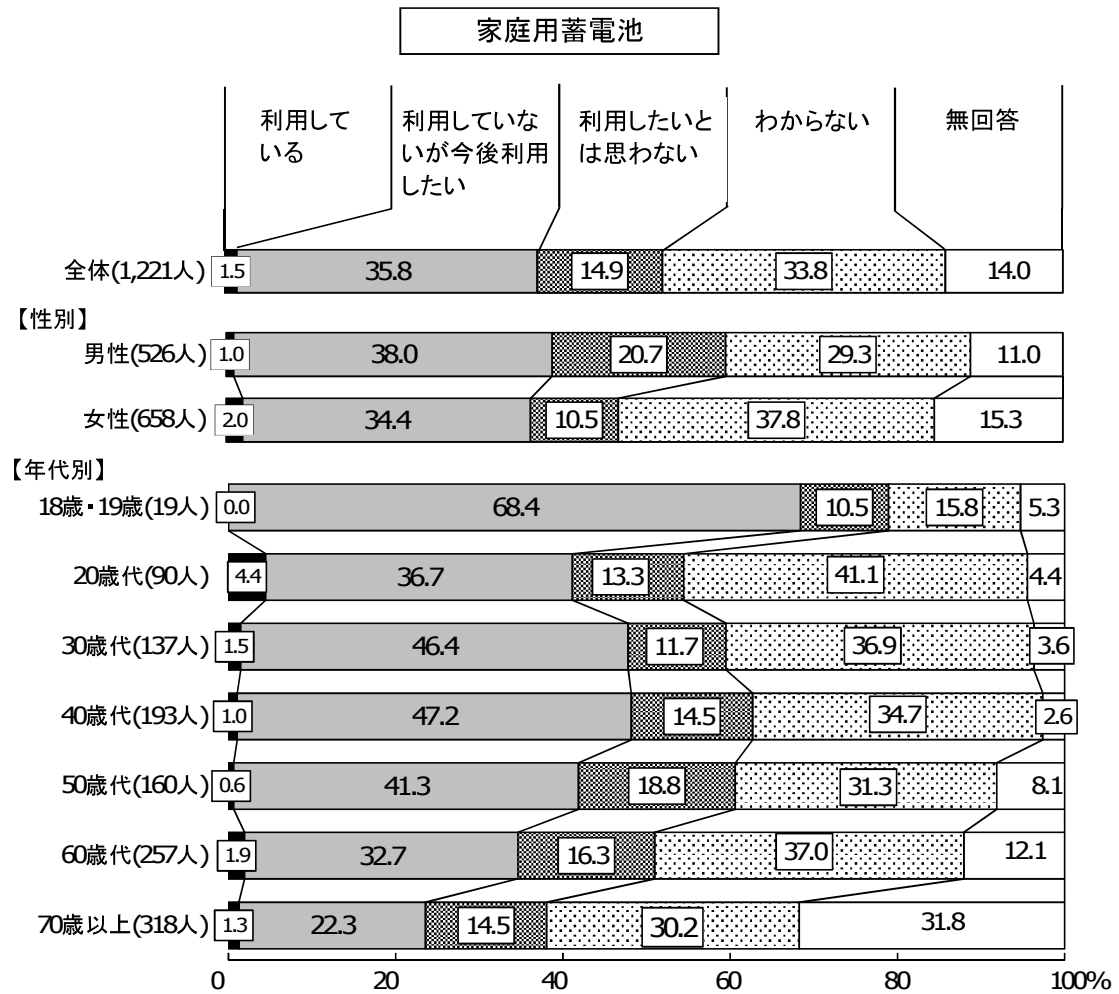
全体で見ると「利用している」は5.9%、「利用していないが今後利用したい」は33.3%となっています。

性別で見ると「利用していないが今後利用したい」は男性・女性とも3割台となっています。

年代別で見ると「利用している」は30歳代で11.7%と最も高く、年齢が高くなるほど割合が低くなる傾向にあります。「利用していないが今後利用したい」は18歳・19歳で52.6%と最も高く、30歳代以降は年齢が高くなるほど割合が低くなっています。

家庭用蓄電池

◆「利用している」1.5%、「利用していないが今後利用したい」35.8%◆



全体で見ると「利用している」は1.5%、「利用していないが今後利用したい」は35.8%となっています。

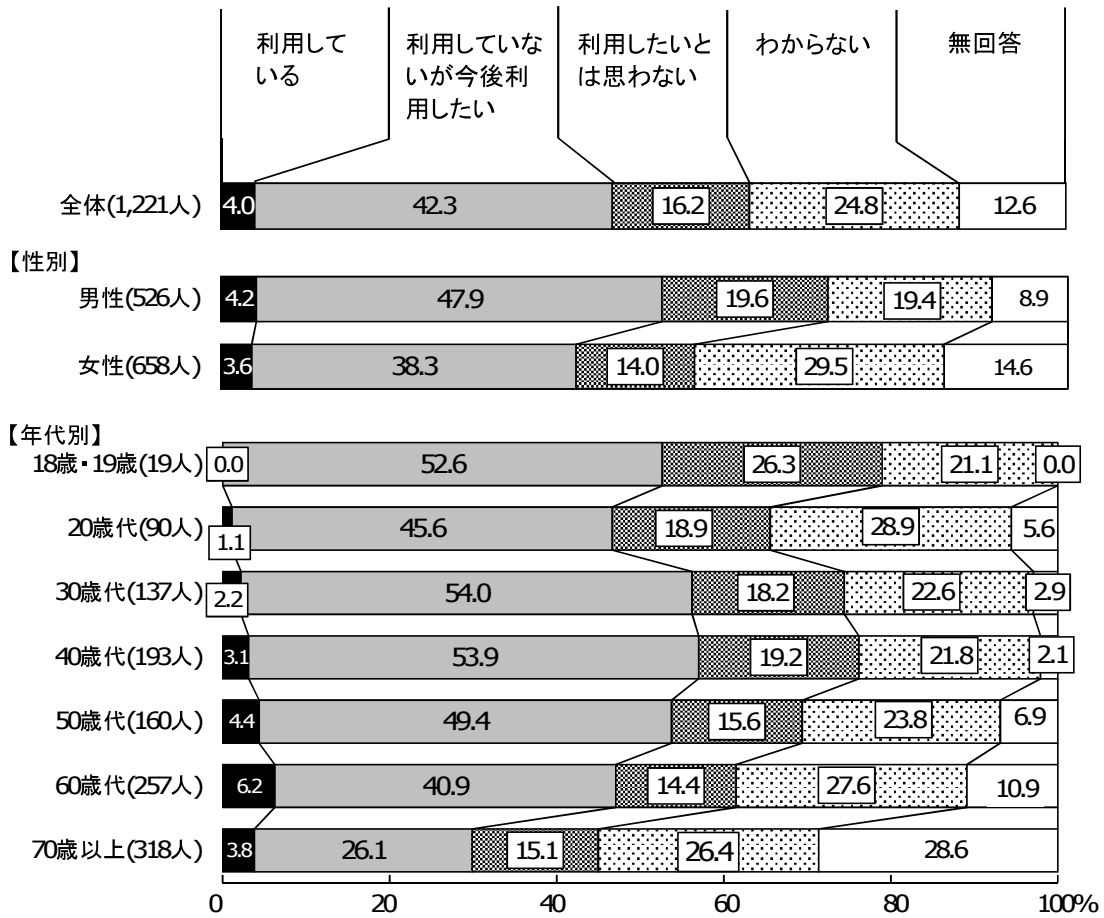
性別で見ると「利用していないが今後利用したい」は男性・女性とも3割台となっています。

年代別で見ると「利用している」は20歳代で4.4%と高いものの、各年代とも割合は低く普及途上にあることがわかります。「利用していないが今後利用したい」は18歳・19歳で68.4%と最も高く、40歳代以降は年齢が高くなるほど割合が低くなっています。

電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池（水素）自動車

◆「利用している」4.0%、「利用していないが今後利用したい」42.3%◆

電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池（水素）自動車



全体で見ると「利用している」は4.0%、「利用していないが今後利用したい」は42.3%となっています。

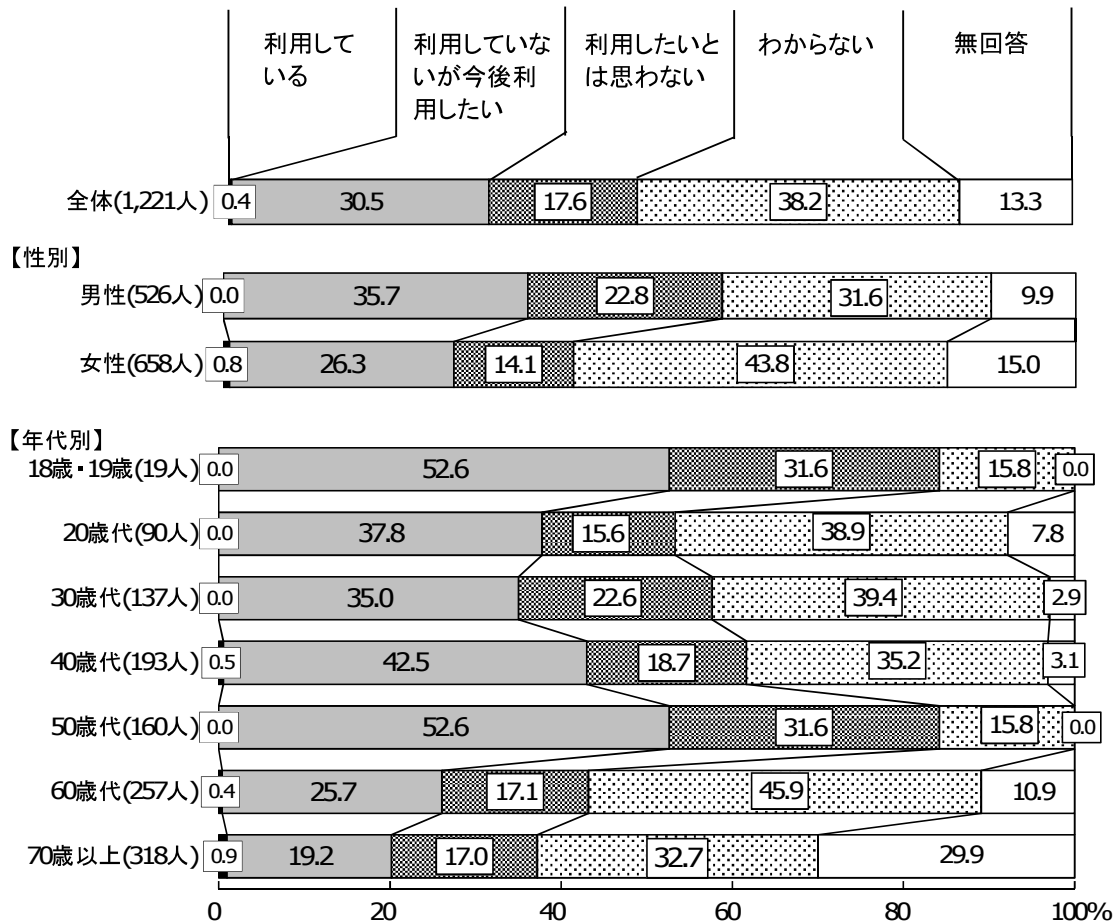
性別で見ると「利用していないが今後利用したい」は男性（47.9%）が女性（38.3%）を9.6ポイント上回っています。

年代別で見ると「利用している」は60歳代で6.2%と最も高くなっています。「利用していないが今後利用したい」は18歳・19歳、30歳代、40歳代で5割台となっています。

電気自動車やプラグインハイブリッド車に蓄えた電気を家で使う機器

◆「利用している」0.4%、「利用していないが今後利用したい」30.5%◆

電気自動車やプラグインハイブリッド車に蓄えた電気を家で使う機器



全体で見ると「利用している」は0.4%、「利用していないが今後利用したい」は30.5%となっています。

性別で見ると「利用していないが今後利用したい」は男性（35.7%）が女性（26.3%）を9.4ポイント上回っています。

年代別で見ると「利用している」はいずれの年代でも1割以下で、性別で見ると「わからない」が、男性・女性ともに3割以上であることから、機器の認知そのものが十分でないことが推察されます。